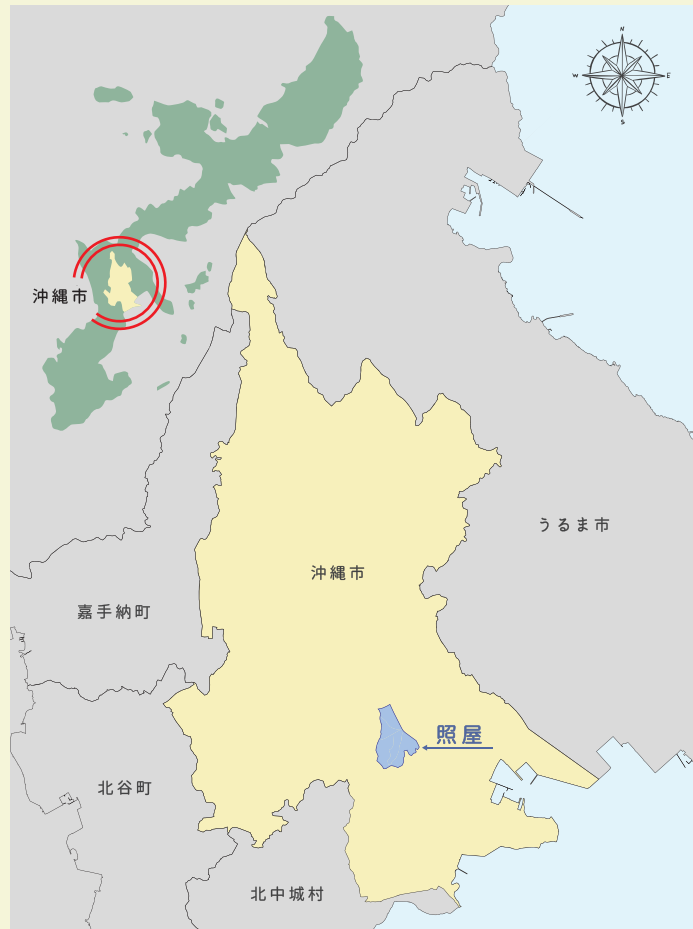
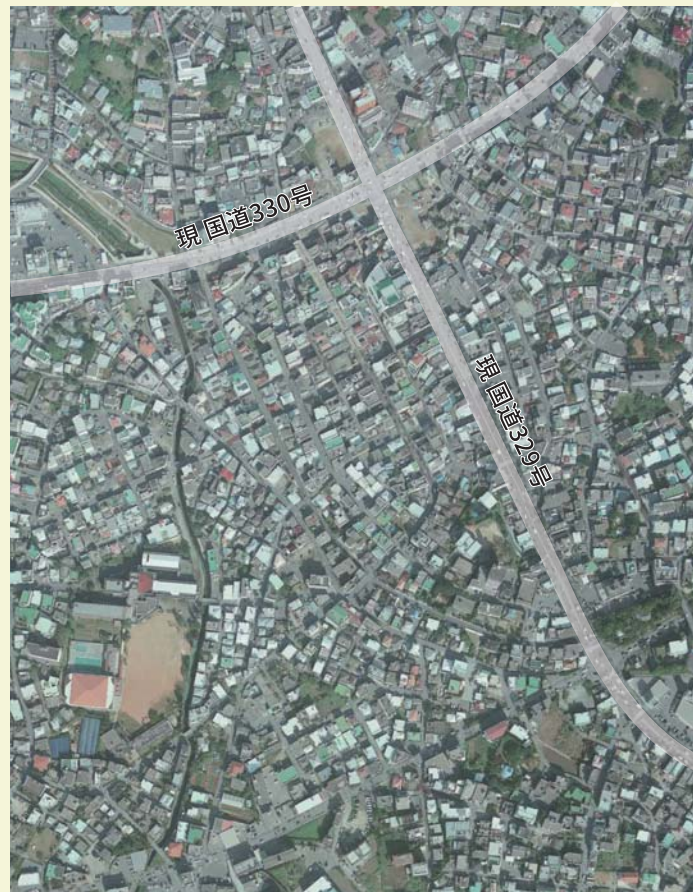


照屋の位置



2010年の照屋集落の様子



出典：国土地理院ウェブサイト

沖縄市文化財マップ 照屋地区

平成29年度発行
発行：沖縄市教育委員会 沖縄市立郷土博物館
〒904-0031
沖縄県沖縄市上地2-19-6 沖縄市文化センター3階
TEL：098-932-6882
FAX：098-933-6218

照屋地区



沖縄市文化財マップ



照屋集落について

照屋は沖縄市の中央部に位置する字で、国道330号と329号の交差する沖縄本島中部地域の交通の要所であるコザ十字路に面しています。


照屋は方言でティーラといいます。1713年の歴史資料『琉球国由来記』に「照屋村」が記載されています。古くは美里間切宮里村の一部でしたが、宮里村の南側に集落が形成されていき、分村したといわれています。沖縄戦以前の照屋は農地に囲まれた小さな農村集落でした。

沖縄戦後、基地の街コザのベッド・タウンとして人口が膨れ上がり、急速に発展していきました。1951(昭和26)年、コザ十字路を中心とした区画整理に伴ってコザ十字路市場が整備され、沖縄本島中部における屈指の商店街となりました。米軍兵士向けの飲食店も立ち並び、沖縄県一円、奄美群島からも人々が集まり、色々な商売が行われました。しかし、沖縄県復帰前後から基地経済の脱却が叫ばれるようになり、米軍兵士向けの飲食店は次第に減少し、現在は個人住宅やアパートが目立つ住宅街です。


1945年の照屋集落の様子



出典：沖縄県公文書館所蔵『米軍撮影空中写真 ON24146 054-1』より




① アガリヌタキ (アガリヌウタキ)
 御嶽の神、ヌールの神、火の神が祀られている拝所で、1950年代の区画整理に伴い、現在の場所に合祀されました。現在も、集落の行事で拝まれています。
 かつて、アガリヌタキにあった松はとてもきれいで、遠く金武からも見ることができたと言われていました。



② アガリヌカー (ウブガー)
 集落の人は、子どもが生まれた時に用いる水をこの井戸からくんでいました。また、正月の元旦には若水(元旦に初めてくむ水)もくみました。
 この井戸は集落全体で使っており、なかなか水枯れしなかったと言われています。
 現在も旧正月(旧暦1月1日)に拝まれています。



コラム 


タマガイ (火の玉) から集落を守れ!

戦前の照屋集落では、旧暦8月11日にヨーカビーという、集落の屋敷からタマガイ(火の玉)が上がるかどうか、集落を見張る行事がありました。

照屋集落では、高台になっているスーティーチャーヤマ(現在の照屋第二公園南側一帯)から集落を見張っていました。集落にいる人が竿の先に線香の束をくって掲げ、高台から見えるようにしたうえで、スーティーチャーヤマの上から、竿の持ち手に大声で指示して集落内を移動させ、タマガイが上がった屋敷を特定しました。タマガイが上がった屋敷には災難が起こるといわれていて、もしタマガイが確認されたら、災いを避けるためにその家ではウグワン(祈願)を行いました。

実際に、スーティーチャーヤマ近くに住んでいた方は、戦前、遠く離れた中城のほうで、大きなタマガイが上がるのを目撃した経験があります。夜、中城方面から、ウティティータ(落日)のような大きな赤い玉が上がってくるのが見えたと言います。タマガイを目撃した数日後に、中城村の津覇小学校で火事があったと伝え聞いたそうです。

さあ、信じるか信じないかは... 貴方次第です.....

コラム 

ウビナディ

ウビナディ.....それは、沖縄諸島で行われているおまじない。集落で大切にされている井戸などからくんだ水を器に入れ中指を浸し、額を3回撫でます。厄除けや健康祈願の効果があるといえます。


あなたもお正月におばあちゃんなどから額に水をつけられた経験はありませんか? そう、それがウビナディ。お正月以外でもウビナディが行われることがありました。

【ケース1】赤ちゃんが生まれたとき!
 赤ちゃんが生まれると、集落で大切にされている井戸などからくんだ水で、年長者の女性が赤ちゃんにウビナディを行いました。赤ちゃんの生命力を上げるためや、産後の清めを意味すると言われています。


【ケース2】結婚式!
 現代と違いかつては、自宅で結婚式を行っていました。式の最初に夫婦固めの儀礼として、付き添いの女性が花婿と花嫁にウビナディを行いました。

上記の2つのケースはチャンスがあれば見ることができるかもしれませんが、普段でも怖い場所などを通ったりしたときなどに、厄除けとしてウビナディをする事があります。水がない時は、ツバでも代用できますのでぜひお試しを!

③ クシヌカー
 現在も照屋本通り沿いに残っている井戸で、畑の行き帰りなどに利用されていた井戸です。



④ メーヌカー
 現在、照屋郵便局近くの契約駐車場の片隅に残っている井戸です。この周辺は昔、田んぼであったため、農業や日常における洗い場として利用されていました。
 また、戦前は、人が亡くなった時に体を拭くのに使う水をこの井戸からくんでいました。別名メーヌカーグワーとも呼ばれています。



照屋
文化財
マップ